関宿地域

複合施設の開設や浸水対策 道路整備や消防出張所も

合併後の旧関宿町役場の活用は、住民の皆さんから要望の多かった図書館や集会室、関根名人記念館などが入る複合施設としてリニューアルしました。また、浸水対策は、特に六丁四反水路の整備を始め、集中豪雨時には浸水箇所の応急対策を実施しています。さらに川間駅方面へのアクセスの利便性を図るため、連絡道路の整備や消防署関宿北出張所の設置などを進めてきました。

いちいのホールは図書館や集会室も

関宿地域のコミュニティや文化活動の拠点施設となるよう、合併後の旧関宿町役場を住民の皆さんからの要望に沿ってリニューアルし、平成16年4月1日、「いちいのホール」として開設しました。

1階には住民窓口サービスなどを行う関宿支所と喫茶コーナー、2階・3階にせきやど図書館、子育てを支援する二川つどいの広場、4階・5階には集会室や和室が利用できる関宿コミュニティ会館や将棋の関根名人記念館、関宿ことば相談室、野田市関宿商工会などが入った複合施設としました。

「いちい」は、旧関宿町の木として長く親しまれてきた針葉樹です。

せきやど図書館には5万冊の本や7千枚のCDなども

六丁四反水路を整備し浸水被害を解消へ

合併に際し、六丁四反水路を改修して浸水被害を解消することを、新市建設計画の重要課題のひとつと位置付けました。

六丁四反水路は、親野井地区から船形地区へ通じる全長約7・7キロメートルの水路で、昭和40年代以降、宅地造成に伴い、水路に流れこむ水量が増し、夕立程度の雨でさえ被害をもたらすようになりました。

市では、平成15年度から浸水箇所の調査や解析に取り組み、暫定調整池の緊急工事や水路の拡幅、道路のかさ上げ工事などを実施しました。

しかし、16年の台風による記録的な降雨で、水路周辺から次木・親野井・東宝珠花・木間ケ瀬地区など広い範囲が浸水に見舞われた

映像ソフトや子どもの本も充実

図書館協議会委員　**島山波子さん**

旧関宿町には図書館がなく、当時のコミュニティセンターに学校の図書室のような部屋があるだけで、通う人は多くはいませんでした。新しい図書館にはさまざまな書籍や雑誌に加えて、映像ソフトも充実していて、読書だけでなく自分なりの楽しみ方が発見できるように思います。まずお子さんを連れていってほしいですね。日曜日には「読み聞かせ」を開いたり、小学一年生には図書館バッグのプレゼントをしていますよ。